

内科 小児科 漢方  
産科 婦人科  
浮田医院  
だより



第 70 号

医療法人 せゝらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)

発行日：2007年6月5日(火)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(70)  
老人の漢方



しとしと降り続ける梅雨が近いこの頃です。雨に打たれ、薄紅、青、紅と日々七変化し、庭先や公園やお寺の一隅を明るくしてくれる紫陽花に癒されるひと時を楽しむのが大好きです。当院に咲く「ヒメアジサイ」、私の書斎の前で咲く「ヒメアジサイ」「ホワイイトダイヤモンド」「フロインデンシユタイン」いずれも秋風が立つ頃まで満開時の姿で枯れ花を残しています。余呉湖の畔のアジサイ園のアジサイ群は奥余呉一帯に光を放っているように感じられました。

老人の漢方のお話です。

高齢になると、免疫力が低下し、多くの慢性的な疾患を持つので、多方面の症状に有効な漢方薬が期待されます。加齢と共に全身の臓器にエネルギーを分配する生命の源(腎)や消化吸収によりエネルギーを生産する機能(脾)が低下

します。そこで、胃腸機能を高め、免疫力を高める「補」の治療が必要になります。胃腸の弱い方は、うつ病、不定愁訴に、胃腸が強い方は、糖尿病、動脈硬化、高血圧症などに罹りやすくなります。治療は、「腎」や「脾」を補いながら、「乾燥」や「冷え」を十分に考慮し、



余呉湖のアジサイ(滋賀県)

乾燥に「滋潤剤(地黄剤)」、「胃腸虚弱や冷え」に「温補剤(参耆剤、附子剤)」を用い、便秘や微小循環障害(瘀血)に瀉剤(大黃、駆瘀血剤)を併用します。では実例に移ります。

七十七歳女性、右変形性膝関節症(膝の腫脹と疼痛)、腰痛、足の冷え。血色良好、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、臍上悸、両側臍傍抵抗と圧痛、臍下悸、両側臍下腹直筋緊張、臍を中心に腰が曲がり変形。お腹は臍全体が軟弱脈、沈、弱、遅。舌は淡紅色、湿薄白苔、舌下静脈軽度怒張。そこで、

右膝部(血海、陰陵泉、委中、陽陵泉)に鍼を実施。大防風湯と防己黃耆湯を処方。二週間後、痛みは軽減。二ヶ月後、同じ処方。二年後、症状は一進一退。

三十七才男性、アトピー性皮膚炎、

口渇、慢性鼻炎、便秘(三日に一回)。顔面、胸部、腹部、背中、膝窩は赤くザラザラ、痒みが強く、ところどころ掻爬のため傷になり分泌物。両頬は赤く紅潮、心下痞硬、両側腹直筋緊張、臍傍抵抗と圧痛(両側)、脈は浮緊。舌は鮮紅色、乾膩黃苔。そこで、白虎加人參湯





と黄連解毒湯加大黄を処方。二ヶ月後、口渇、顔面紅斑、全身搔痒感、皮膚の赤み、便通は改善。三ヶ月後、皮膚のカサカサ状態（血虚）を改善するため、滋陰降火湯と三黄瀉心湯に変更。六ヶ月後、皮膚の赤みはほぼ消失、滋陰降火湯と桂枝茯苓丸に変更。一年後、ステロイド外用薬が不要。三年後、桂枝茯苓丸と四物湯に変更。五年後の現在も継続中。

三十九歳女性、**眼精疲労**、肩首背の凝り、頭痛（三日に一回）、憂鬱。顔は蒼白く、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、臍上悸、両側臍傍抵抗と圧痛、下腹部は膨満。脈は沈、弦。舌は紫紅色、薄乾白苔、舌下静脈怒張。そこで、（一貫堂）柴胡疎肝湯を処方。一週間後、体の強ばり感が減少。四週間後、頭痛は一週間に一回程度に減少、眼の疲れと下腹部膨満感是不変。そこで、半夏と厚朴を追加。二ヶ月後、下腹部膨満感が消失。四ヶ月後、肩首背の強ばりを和らげるため、毎日軽い運動を始めてもらい、半夏と厚朴は中止。七ヶ月後、色々な症状がほぼ消失。一年後



〔院長〕

廃薬。

十七歳女性、**生理痛**と便秘、にきび、冷え症（下肢）。両頬は紅潮、腹は全体に硬く膨満、胸脇苦満、心下痞硬、両側臍傍の抵抗と圧痛。脈は弦、沈、細。舌は紫紅色、薄乾黄苔、舌下静脈怒張。そこで、柴胡、半夏、黄芩、当帰、芍薬、蒼朮、茯苓、沢瀉、大棗、生姜、枳実、桃仁、牡丹皮、紅花、蘇木、木通、厚朴、陳皮、薏苡仁、甘草、大黄、芒硝を処方。一ヶ月後、便通、浮腫が改善。六ヶ月後、ほぼ症状が消失。八ヶ月後、半量に減量。一年後、三分の一に減量。一年六ヶ月後廃薬。

当院のホームページを一部変更しました。今後も皆様方が利用しやすくしていく予定です。

次回は、**アトピー性皮膚炎Ⅳ**についてです。



## アトピー性皮膚炎

大人や子供のアトピー性皮膚炎の漢方治療をしています。大人には、清熱剤や利尿剤を中心に皮膚の熱や水を調整する漢方薬を、子供には虚弱な体質（胃腸虚弱）を改善する漢方薬を使用する機会が多くなっています。その他、漢方外用薬、漢方入浴剤なども用意しています。かさかさ、ジクジク、痒みなどの苦痛から解放されるようお手伝いします。



## 眼 精 疲 労

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。

眼科疾患（緑内障、角膜炎、結膜炎、遠視、乱視、老眼、その他）、シェーグレン症候群、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病（心因性障害）などを見逃さない（検索）ことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。



## 生 理 痛

子宮内膜症や子宮筋腫やクラミジア感染症、胃腸虚弱、冷えや血液循環障害、精神不安などが原因で、子宮筋肉を流れる血液が相対的に不足（血虚）するために起こります。検査（血液、尿、子宮頸管分泌物、超音波）や診察（問診、四診〔腹、脉、舌〕、内診）で適切な漢方薬を選びます。



## 当院の漢方治療



### 剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。  
当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。  
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

### 適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

### エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

### 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膈分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 予約-漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります。予約制、2回/月)。  
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、  
3時～3時20分、3時20分～3時40分。  
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

### 骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

### アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

### 漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

### 在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族のひとと相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

### スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、ストレス・・・などの治療に利用しています。

### 皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

### 処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

## 外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約可):内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日):午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分  
電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可):更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可):赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可):妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料):正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料):午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

## 前期と中期-母親教室

日時:平成19年7月7日、8月4日の各土曜日  
対象:妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所:当院別棟 多目的ルーム 申込方法:申込ノートでご予約をお願いします。\*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

## 後 期 - 母 親 教 室

日時:平成19年6月9日(土)、20日(水)、30日(土)、7月11日(水)、  
21日(土)、28日(水) 対象:妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

## 母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳と“母と子のてびき”を忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



## 中 医 学

中国の伝統医学を「中医学」と言います。その基礎は前漢時代の「黄帝内経」、後漢時代の「神農本草経」、3世紀ごろの「傷寒雑病論」の三大古典にあります。金元四大家(寒涼派、攻下派、補土派、養陰派)や清の温病学派を経て、伝統的基礎理論・診断・治療において整合性がとれた医学体系を目指す「中医学」へと発展してきました。中醫師免許は國務院の下に置かれている教育部の指導の元に中医学院(中医学大学)で教育を受けた人に与えられ、西洋医免許は西洋医学教育を受けた人に与えられている。



## 分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。  
ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。  
予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

## 外来の予約方法

患者様の診察の待ち時間が短くなるように、診察の時間予約をしています(再診の方のみ)。そのため、予約頂いている患者様を優先させて頂きます。また、通院中の患者様の中でお薬だけ・注射だけ・検査だけの場合は時間予約の必要はありませんので診察時間中にお越し下さい。

◆ご予約頂いておりましても、分娩などで診察を中断する事もございますのでどうかご理解頂きます様にお願い致します。  
◆初診の方は予約できません。ご了承ください。

浮田医院ホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)  
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)  
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)  
老人医療のページ(在宅療養の支援)  
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)  
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

## 正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。  
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。  
分娩希望の方はすべて受け付けています。

## 母乳相談(助産師)

母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。(電話予約可)  
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。  
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

## 赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。  
日時:毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

## 入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

## 外来医の変更

6月16日(土曜日)の外来は、院長が日本東洋医学会総会に出席するため、担当医が変わります。この日の漢方外来はありません。